

アキール文庫スーフィズム関連コレクション
[A1304-1309, A1403, B003, B801-804, B901-902]*

二宮 文子**

Books on Sufism in the Aqeel Collection

NINOMIYA Ayako

Among the books on Sufism in the Aqeel Collection, books on Chishtis or Naqshbandis from Pre-Modern times to the beginning of the early 20th century are the most prominent. The collection includes some important tazkiras and biographical works on modern Sufis too. Persian and Arabic works of Walī Allāh and research works on him comprise a separate section. There are rare Persian texts such as the Lahore Edition of *Fawā'id al-Fu'ād*, a *mal'fūzāt* of Nizām al-Dīn Awliyā' and *Kulliyāt-i Bāqī Bi-llāh*, as well as Urdu texts like *Ḥadīqat al-Awliyā* by Ghulām Sarwar Lāhawrī written in the latter half of the 19th century. It should be noted though that most books of the Sufism Collection are rightly categorized in sections related to Sufism or Tazkira, while some books are mixed in with sections such as 'Modern Thinkers' or 'Local History'.

アキール文庫のスーフィズム関連コレクションは、前近代から20世紀初頭までのチシュティー派やナクシュバンディー派のスーフィーに関する伝記や研究書が中心となっている。特に、ワリーウッラー関連書籍は、それだけで一つのセクションが設けられるほど充実している。なお、コレクションのほとんどはスーフィズム、あるいはスーフィーのタズキラのセクションに収められているが、一部のスーフィー関連の書籍は近現代の知識人関連の文献に混在していたり、また地方誌のセクションに当該地域のスーフィーの伝記集が含まれている場合もあるため、検索には多少の注意を要する。

18世紀までの南アジアのスーフィズム研究においてはペルシア語史料が主要な材料となるが、周知の通り、それらの史料の出版状況は良好とはいえず、さらに学術的な校訂がなされていない版も多い。そのため、研究の際には、複数の版を比較参照することが望ましい。アキール文庫スーフィズム関連コレクションには、ナワル・キシヨール出版社から19世紀末~20世紀初頭に出版された版や、イラン・パキスタンペルシア語研究所(Markaz-i Taḥqīqāt-i Fārsī-yi Irān wa Pākistān)から1960-70年代に出版された版など、国内にこれまで所蔵がなく、現在では入手困難であるものが含まれている。中でも、ニザームッディーン・アウリヤーの語録 *Fawā'id al-Fu'ād* の最も信頼に足る校訂であるにもかかわらず、国内や欧米の主要な図書館に所蔵がないため長らく参照が困難であったラホール版(AQEEL||A||1304||39)や、デリー・サルタナト時代のチシュティー派の伝記集 *Siyar al-Awliyā* のイラン・パキスタンペルシア語研究所版(AQEEL||B||901||10)といった、学術的に価値が高い校訂本が目される。ナクシュバンディー派関連では、アフマド・スィルヒンディーの弟子による、ナクシュバンディー派のシャイフたちの伝記集 *Ḥaḍarāt al-Quds* のラホール版(AQEEL||B||901||17)、アフマド・スィルヒンディーの孫で、デリーで活動したアブドゥルアハド(1729年没)の書簡集 *Gulshan-i Waḥdat* のカラチ版なども、国内では唯一の所蔵である。

* 本稿は、科学研究費プロジェクト「南アジア諸語イスラーム文献の出版・伝播に関する総合的研究」(課題番号24320017)の研究成果の一部である。

** 青山学院大学文学部准教授

伝記の分野では、1016 / 1608 年頃に著された *Ḥadīqat al-Awliyā* (AQEEL||B||808||27) や 1780 年に成立したタッタのスーフィー列伝 *Tuḥfat al-Tāhirīn* (AQEEL||B||802||10, AQEEL||B||808||32) のハイデラーバード (スインド) 版などのスインド地方の伝記集、あるいは、ジャランダルのスーフィー列伝 *Shamīm-i Jālandār* (AQEEL||B||801||10) などのパンジャブ地方の伝記集が充実している。また、パンジャブのチシュティー派のスーフィー、ムハンマド・スライマーン・タウンサウィー (1851 年没) の伝記 *Ḥadīrat Khwājah Muḥammad Sulaymān Tawnsawī aur unki Khulafā* (Muḥammad Ḥusayn Ilāhī 作、Lahore, 1979 年) (AQEEL||A||1309||13)、パーニーパトのスーフィー、サイイド・ガウス・アリー・シャー (1804-1880 年) の語録 *Tadhkirah-i Ghawthiyya* (Lahore, 1977 年) (AQEEL||A||1306||11)、ナグプルのタージュッディーン (1925 年没) の伝記 *Tadhkirah Tāj al-Awliyā* (Muḥammad Ḥusām al-Dīn 作、Hyderābād, 2008 年) (AQEEL||A||1307||14)、*Sawānīh-i Ḥayāt-i Bābā Tāj al-Dīn Nāgpūrī* (Suhayl Aḥmad ‘Azīmī 作、Karachi, 1985 年) (AQEEL||A||1309||11) や、反アフマディーヤ運動を牽引したミフル・アリー・シャー (1859-1937 年) の伝記 *Mehr-i Munīr* (Fayd Aḥmad 作、Islamābād, 1997 年) (AQEEL||A||1309||25) など、19-20 世紀に注目すべき活動をしたスーフィーに関するウルドゥー語の史料は、今後この時代のスーフイズム研究に役立てられるべき書籍群である。

以下、ペルシア語史料、ウルドゥー語史料、研究書の順で、特に注目すべき書籍を挙げる。

・ペルシア語史料

Shamīm Maḥmūd Zaydī. *Aḥwāl wa Āthar-i Shaykh Bahā' al-Dīn Zakariyā Multānī wa Khulāṣat al-'Arīfīn*.

Rāwālpindī: Markaz-i Taḥqīqāt-i Fārsī-yi Irān wa Pākistān, 1974. (AQEEL||A||1304||34)

ムルターンのスフラワルディー派の祖バハーウッディーン・ザカリヤー (1262 年没) の伝記研究。バハーウッディーン・ザカリヤーの語録とされる *Khulāṣat al-'Arīfīn* のペルシア語テキストが収録されている。同作品の成立年代・編者は不明だが、ウッチュのジャラルッディーン・ブハーリー (1384 年没)、チシュティー派のフェアードッディーン・ガンジュシヤカルとニザームッディーン・アウリヤーの語録からバハーウッディーン自身の発言や彼に関する逸話を抜粋したものである旨が前文で述べられている。

Ya'qūb Charkhī. *Risālah-i Anīṣah*. (ed.) Muḥammad Nazīr Rānjhā. Islamābād: Markaz-i Taḥqīqāt-i Fārsī-yi Irān wa Pākistān, 1983. (AQEEL||A||1306||9)

Ya'qūb Charkhī. *Risālah-i Abdālīyah*. (ed.) Muḥammad Nazīr Rānjhā. Islamābād: Markaz-i Taḥqīqāt-i Fārsī-yi Irān wa Pākistān, 1978. (AQEEL||B||902||14)

バハーウッディーン・ナクシュバンドの弟子で、ブハーラーからバダフシャー、その後チャガーニヤーンへ移住したヤアクブ・チャルヒー (1447 年没) のリサーラ 2 点。彼の著作は北インドでは良く知られていたようで、著作の写本がアリーガルの Mawlana Azad Library やランプルの Raza Library に複数所蔵されている。

Kulliyāt-i Bāqī Bi-Ilāh. (ed.) Abū al-Ḥasan Zayd Fārūqī Naqshbandī Mujaddidī & Burhān Aḥamd Fārūqī, Lahore: Malik Dīn Muhammad and Sons, 1967. (AQEEL||A||1304||16)

アフマド・スィルヒンディー (1624 年没) の師パーキーピッラー (1603 年没) の作品集。編者不明の日記形式の語録からの抜粋、87 通の書簡、『クルアーン』太陽章やイフラース章への注釈など 12 のリサーラ、詩などが含まれる。

Aḥmad Fārūqī Sirhindī. *Ithbāt al-Nubūwat*. (AQEEL||A||1305||14)

アフマド・スィルヒンディーが預言者性の重要性について論じたアラビア語の小作品(995/1586-7年成立)。ウルドゥー語訳が付されている。本書には表紙がなく出版情報が不明だが、前文の情報から、パキスタンのハイデラーバード版(1383/1963-4年)として用いられてきたものと推察される。パキスタンで出版された版としては、他にカラチ版(1965年)が知られている。

Muḥammad Shākīr b. Mullā Badr al-Dīn Sirhindī. *Ḥasanāt al-Ḥaramayn*. (ed.) Muḥammad Iqbāl Mujaddidī.

Lahore: Maktabah-i Sarājiyah-i Khānqāh-i Aḥmādiyyah Sa'īdiyyah, 1981. (AQEEL||A||1305||17)

アフマド・スィルヒンディーの息子ムハンマド・マアスム(1599-1661/2年)が1657年にメッカ巡礼を行った際の語録。息子ムハンマド・ウバイドゥッラーがアラビア語で記録した *Yawāqūt al-Ḥaramayn* をバルシア語訳したもの。出発前から道中、メッカ滞在中、メディナ滞在中の3部に分けられている。

‘Abd al-Aḥad Sirhindī. *Laṭā‘if al-Madīna*. Lahore: Hauḍa-e-Naqshbandiyya, 2004. (AQEEL||A||1305||16)

アフマド・スィルヒンディーの次男ムハンマド・サイド(1596-1661年)の伝記。彼の息子アブドゥルアハドがアラビア語で著したもの。イスラマーバードの Ganj Bakhsh Library に所蔵されている唯一の写本のコピーと、ムハンマド・イクバル・ムジャッディディーによるウルドゥー語訳、解説が収録されている。

‘Abd al-Ḥaqq Muḥaddīth Dihlawī. *Risālah-i Nūrīyah-i Sulṭānīya*. (ed.) Muḥammad Salīm Akhtar. Islamābād:

Markaz-i Taḥqīqāt-i Fārsī-yi Īrān wa Pākistān, 1985. (AQEEL||A||1306||36)

多作で知られるアブドゥルハック・ムハッディス・ディフラヴィー(1642年没)が、シャリーアに則った統治について論じたりサーラ。ムガル朝ジャハーンギール時代(1605-27年)の治世に書かれた鑑文学として評価されている。

Muḥammad Hāshim Tharpālāwī. *Chahār Bahār*. (ed.) ‘Arif Nawshāhī, Islamābād: Markaz-i Taḥqīqāt-i

Fārsī-yi Īrān wa Pākistān, 1984. (AQEEL||A||1308||11)

パンジャブ地方で成立したカーディリー派の分派であるノウシャーヒー派の祖、ムハンマド・ノウシャー・ガンジュバフシュ(1552-1653年)の語録。 *Khazāin al-Asrār* と題されたウルドゥー語訳(サイド・シャラーファット・ノウシャーヒー訳)付き。ムハンマド・ノウシャーフの思想研究のための最重要文献である。

Shāh Walī Allāh Dihlawī. *Tuḥfat al-Muwahḥhidīn*. Lahore: Maktabat al-Salafiyya, 1962. (AQEEL||A||1403||35)

シャー・ワリーウッラー(1762年没)がイスラームの教条、特にタウヒードの思想について解説したバルシア語の小作品。ページの上段にバルシア語テキスト、下段にウルドゥー語訳が記されている。

Majmū‘ah-i Waṣāyā-yi Arba‘a. (ed. and tr.) Muḥammad Ayyūb Qādirī. Hyderābād (Sind): Shah Wali Allāh

Academy, 1964. (AQEEL||A||1403||17)

シャー・ワリーウッラーの作品 *al-Maqālat al-Waḍīya fī al-Naṣīha wa al-Waṣīya* とその注釈や、ロー

ヒラーのナワーブ一族のサアータット・ヤール・ハーン(19世紀)が、シャー・ワリーウッラーのリサーラをウルドゥー語韻文で翻案した作品 *Taṣnīf-i Rangīn* (1832-3年成立) 他、合計4点の作品の原文とウルドゥー語訳が収録されている。

‘Abd al-‘Azīz Dihlawī. *Faḍā’il-i Ṣaḥābah wa Ahl-i Bayt*. Lahore: Begam Humāyūn Trust, 1967. (AQEEL||A||1403||30)

ワリーウッラーの息子シャー・アブドゥルアズィーズ(1824年没)によるリサーラ *Sirr al-Jalīl fī Mas’ilat al-Taḥḍīl*, ‘Azīz al-Iqtibās fī Faḍā’il Akhyār al-Nās, *Wasīlat al-Najāt* の3点と、シャー・アブドゥルアズィーズが様々な相手に出した書簡、シャー・ラフイーウッディーン(1824年没)の書簡1点のペルシア語テキストが収録されている。

Shāh Rawūf Aḥmad. *Durr al-Ma‘ārif*. Istanbul: Maktaba Īshīq, 1974. (AQEEL||A||1305||19)

デリーで活動したムジャッディディー派のスーフィー、グラーム・アリー(1824年没)の語録。編者ラウフ・アフマド(1838年没)は彼の直弟子。日誌形式で、1231年ラビーII月12日から同年のラマダーン明けのイードまでの間(1816年3月12日～8月25日)の講話が記録されている。

Aḥmad ‘Alī Khairābādī. *Qaṣr al-‘Arīfīn*. (ed.) Muḥammad Bāqir. (AQEEL||B||902||10-13)

著者アフマド・アリー・ハイラーバーディー(1864年没)はパンジャープで活動したチシュティー派のスーフィー。本作は預言者性と聖者性に関する議論から始まり、ムハンマドと正統カリフ、十二イマーム、さらに最初期から著者の同時代までのタリーカやスーフィー(特にチシュティー派とカーディリー派)の説明と伝記が収録されている。書籍ではなく、オリエンタル・カレッジ・マガジン41巻3-4号(1965年5月、8月)、42巻1-2号(1965年11月、1966年2月)への連載で、1966年発行の最終巻は解題と索引にあてられている。

Shāh Sayyid ‘Alī Raḍā’ī Raḍā Ilāhī Palās-pūsh Qalandar (comp.). *Sulūk-i Qalandarī*. Hyderābād (Deccan): Khādim Ḥājī Kartān Mālik Akhbār Shawkat al-Islām Press, n.d. (AQEEL||A||1307||24)

シャー・ミール・アフマド・フサイン・チシュティー・カラングリーというスーフィーの教えをまとめたとされる書物で、2冊本の1冊目である。書物の内容と体裁から、おそらく、アフマド・フサインやその弟子たちの手元にあった写本をそのまま写したものと推察される。収録されている作品は、アフマド・フサイン本人の作品数点に加え、チシュティー派のナスィールッディーン・チラーグ・デリー(1356年没)やナクシュバンディー派のバーキービッラーに帰される韻文、デカンのピージャープルで活動したチシュティー派のスーフィー、ミールアンジー(通称 *Shams al-Ushshāq*, 1496年没)の *Irshād al-Ṭālibīn* などである。扱いには注意を要するが、カラングリー派の思想やその文献上の基盤を知るための興味深い材料と考えられる。

・ウルドゥー語史料

Ghulām Sarwar Lāhawrī. *Ḥadīqat al-Awliyā*. (ed.) Muḥammad Iqbāl Mujaddidī. Lahore: Islamic Book Foundation, 1976. (AQEEL||B||901||40)

19世紀後半にラホールで活動した学者・詩人グラーム・サルヴァルによるウルドゥー語のスーフィー列伝。カーディリー派、チシュティー派、ナクシュバンディー派、スフラワルディー派の4

スィルスィラのシャイフ、その他のシャイフ、狂人聖者(majzūb)、女性、パンジャーブの聖者という分類がなされている。

Ashraf‘Alī Thānawī. *Arwāḥ-i Thalātha*. Lahore: Islāmī Academy, 1976. (AQEEL||B||902||38)

シャー・ワリーウッラーとその子孫やグラーム・アリーを初めとする、60人ほどのイスラーム学者の逸話集。ワリーウッラーの孫シャー・イスマイル・シャヒード(1831年没)や、デオバンド運動の創始者の一人カースィム・ナーノータヴィー(1833-80年)に対して多くの分量が割かれている。

Muḥammad ‘Abd al-Raḥmān. *Tadhkirat al-Ṣulahā (Tārīkh-i Aḥsan)*. Badaon: Maṭba‘-i Nizāmī, 1911. (AQEEL||B||003||68)

南アジアのスーフィー聖者の没年リスト。1100名余りのスーフィーの名前、没した年月日、スィルスィラ、墓のある場所が記されている。1911/2年成立。

Gul-i Khandān: Buzurgān-i Dīn Number. Lahore: Malik Sirāj al-Dīn and sons, October 1962. (AQEEL||B||003||71)

ウルドゥー語雑誌の特別号で、イスラーム聖者や学者の評伝や逸話を集めたもの。

・研究書ほか

Sayyid Wahīd Ashrafī. *Muqaddimah-i Laṭā‘if-i Ashrafī*. Baroda: Dānishgāh-i Mahārājā Sayājīrāo, 1976. (AQEEL||A||1304||10)

15世紀にアワードで活動したスーフィー、アシュラフ・ジャハーンギール・スィムナーニーの伝記 *Laṭā‘if-i Ashrafī* について、聖者の子孫でアリーガル大学で博士号を取得した著者がペルシア語で著した解題。

Muḥammad Ayyūb Qādīrī. *Makhdūm Jahāniyān Jahāngusht*. Karachi: Sa‘īd Company, 1975. (AQEEL||A||1306||24)

トゥグルク朝フィールーズ・シャー時代の著名なスーフィー、ジャラルッディーン・ブハーリーの伝記研究。ウルドゥー語研究の中でも情報量が多く、多くの欧米研究者が参照している。著者は、16世紀のスーフィー列伝 *Siyar al-‘Arifīn* のウルドゥー語訳なども手掛けている。

Ahmed Tuncer Akalm. *Serhend*. İstanbul: Selām Organization, n.d. (AQEEL||A||1305||3)

スィルヒンドと、デリーにあるムジャッディディー派縁のハーンカーなどのモノクロ写真のプロシェ。1970-80年代の出版と推察され、当時のアフマド・スィルヒンディー廟や、デリーのハーンカーの様子を伝える貴重な写真記録である。